

資料配布場所

・筑波研究学園都市記者会

平成 23 年 11 月 1 日

国 土 交 通 省

国土技術政策総合研究所

木造長期優良住宅の総合的検証事業 平成 22 年度成果報告会 の開催について

1. 開催の目的

長期優良住宅の普及の促進に関する法律（平成 20 年法律第 87 号）が 2009 年 6 月に施行されましたが、建築物の長寿命化に関する研究は完成したわけではありません。木造の長期優良住宅の様子は関係各方面から様々な提案がなされており、そのディテールについてはまだ検討の余地が多くあります。そこで、国土交通省住宅局住宅生産課の補助事業として「木造長期優良住宅の総合的検証委員会」（委員長：坂本功東京大学名誉教授）の下に、材料分科会、構造分科会、耐久性分科会を設置し、平成 21 年度から 4 年間を目途として、木造長期優良住宅に関するディテールの整備、設計施工指針の作成を目指しています。今回の報告は、各分科会の研究課題の担当者から 2 年度目（平成 22 年度）の研究成果について直接報告いたします。

2. 成果報告会の概要

日 時：平成 23 年 11 月 10 日（木）11:00～16:30（開場は 10:30）

場 所：発明会館ホール（東京メトロ銀座線 虎の門駅 3 番出口徒歩 5 分 発明会館 B1F）

聴 講 料：無料（資料代：2,000 円予定）

定 員：250 名

申込方法：一般社団法人建築性能基準推進協会のホームページ（<http://www.seinokyo.jp>）からお申し込みください。（定員になり次第締め切らせていただきます）

プログラム：別紙をご覧ください。

お問合せ先： 国土技術政策総合研究所 総合技術政策研究センター

評価システム研究室 室長 槌本 敬大（つちもと たかひろ）

TEL: 029-864-4895（直通） E-mail: tsuchimoto-t92ta@nilim.go.jp

木造長期優良住宅の総合的検証事業 平成22年度成果報告会

主催：株式会社日本システム設計、日本木材防腐工業組合
一般社団法人木を活かす建築推進協議会、一般社団法人建築性能基準推進協会
共催：国土交通省国土技術政策総合研究所、社団法人日本木材保存協会

平成22年度の国土交通省の補助事業で実施いたしました「木造長期優良住宅の総合的検証事業」について、平成22年度成果報告会を下記により開催いたしますのでお誘い合せの上、ぜひご参加ください。

日時：平成23年11月10日(木)11:00~16:30 (開場は10:30)
場所：**発明会館ホール** (東京メトロ銀座線 虎ノ門駅3番出口徒歩5分 発明会館B1F)
聴講料：無料(資料代2,000円)
定員：250名
申込方法：一般社団法人建築性能基準推進協会のホームページ (<http://www.seinokyo.jp>) からエントリーしてください。(定員になり次第締め切らせていただきます)

木造長期優良住宅の総合的検証事業 とは

木造長期優良住宅の総合的検証事業は、「木造長期優良住宅の総合的検証委員会」の下に、材料分科会、構造分科会、耐久性分科会を設置し、平成21年度から4年間を目途として、木造長期優良住宅の認定基準の整備に資することを目的としています。今回の報告は、各分科会の各課題の担当者から2年目(平成22年度)の研究成果について直接報告していただきます。



住所 東京都港区虎ノ門2丁目9番14号
最寄駅 東京メトロ 銀座線 虎ノ門駅 3番出口/徒歩5分
東京メトロ 日比谷線 神谷町駅 4番出口/徒歩6分
東京メトロ 千代田線 霞が関駅 A13番出口/徒歩13分

プログラム (報告内容と報告者)

はじめに(11:00~) (国土交通省住宅局住宅生産課木造住宅振興室長:
加古 貴一郎)

第1部(11:05~12:00) 材料分科会成果報告

1. 検討の背景と目的(国土技術政策総合研究所: 植本敬大)
2. 木造軸組構法に使用する木材の品質基準に関する検討(森林総合研究所: 青木謙治)
3. 枠組壁工法に使用する木材の品質基準に関する検討(三井ホーム:
沖浦 博)
4. 無等級材の基準強度(森林総合研究所: 長尾博文)
5. 木質構造用ねじの標準化に向けた検討(静岡大学: 小林研治)
6. 戸建て住宅基礎の品質等に関する検討(国土技術政策総合研究所:
井上波彦)

第2部(13:10~14:30) 構造分科会成果報告

1. 検討の背景と目的(工学院大学: 河合直人)
2. 損傷限界・安全限界に関するLCC的要素を含めた検討(日本システム設計:
三宅辰哉)
3. 木造軸組構法の安全限界変形に関する実験的検討(信州大学: 五十田 博)
4. 木造3階建て軸組構法住宅の地震時挙動に関する検証

- 4-1 試験体-1、-2の詳細分析(信州大学: 五十田 博)
- 4-2 試験体-3(東京大学: 落合 陽)
- 4-3 試験体-4(耐震等級1)の実験結果(藤田香織、林 弘倫)
- 4-4 壁構面、接合部の動的・静的要素実験(建築研究所: 中川貴文)

第3部(14:45~16:25) 耐久性分科会成果報告

1. 検討の背景と目的(関東学院大学: 中島正夫)
2. 劣化外力の再評価(各種シロアリ分布、被害実態に関する検証)(森林総合研究所: 大村和香子)
3. 劣化外力の再評価(腐朽危険度に関する検証)(森林総合研究所: 桃原郁夫)
4. 保存処理の耐久性と耐久性性能に関する検討(森林総合研究所: 桃原郁夫)
5. 耐久性向上措置としての新構(工)法の健全度実態調査(東京大学:
佐藤雅俊)
6. 接合部の強度劣化評価(森林総合研究所: 加藤英雄)
7. 構造躯体が許容しうる湿潤状態の検討(建築研究所: 齋藤宏昭)
8. 小屋裏換気に関する検討(建築研究所: 齋藤宏昭)
9. 接合金物の耐久性評価に関する検討(住友林業: 石山央樹)
10. 長期優良住宅における維持管理に関する検討(京都大学: 藤井義久)